

## (仮称) 国際工芸美術館実施設計の進捗状況について

(仮称) 国際工芸美術館実施設計の進捗状況について報告します。

### 1 実施設計の進捗状況について

2022年12月19日の建築審査会において、建築基準法に基づく特例許可について委員からの同意を得て、その後、2023年2月16日には特例許可を取得しました。現在は、建築基準法に基づく計画通知の申請を行っていると共に、作成した図面（別添資料）に基づき詳細な工事費の積算を行い、工事発注に向けた準備を行っております。

### (仮称) 国際工芸美術館の整備イメージ



① (仮称) 国際工芸美術館の外観



② セセラギテラス付近



③ ロビー



④ 展示室

※別添資料1（配置図）の番号①～④で示した方向のイメージです。

## 2 さらなる工事費の削減の検討について

2022年第4回定例会文教社会常任委員会で、約1億8千万円の工事費の削減及び約1億2千万円のランニングコストの削減について報告しました。

現在、「(仮称)国際工芸美術館整備工事」で発生する建設発生土の一部を「(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟における擁壁整備工事」で再利用することや、収蔵庫棟の外壁陶板タイルの材質の見直しを行うことなど、さらなる工事費の削減について、下記の表のとおり検討を行っております。

引き続きランニングコストを含めた総コストの削減に努めてまいります。

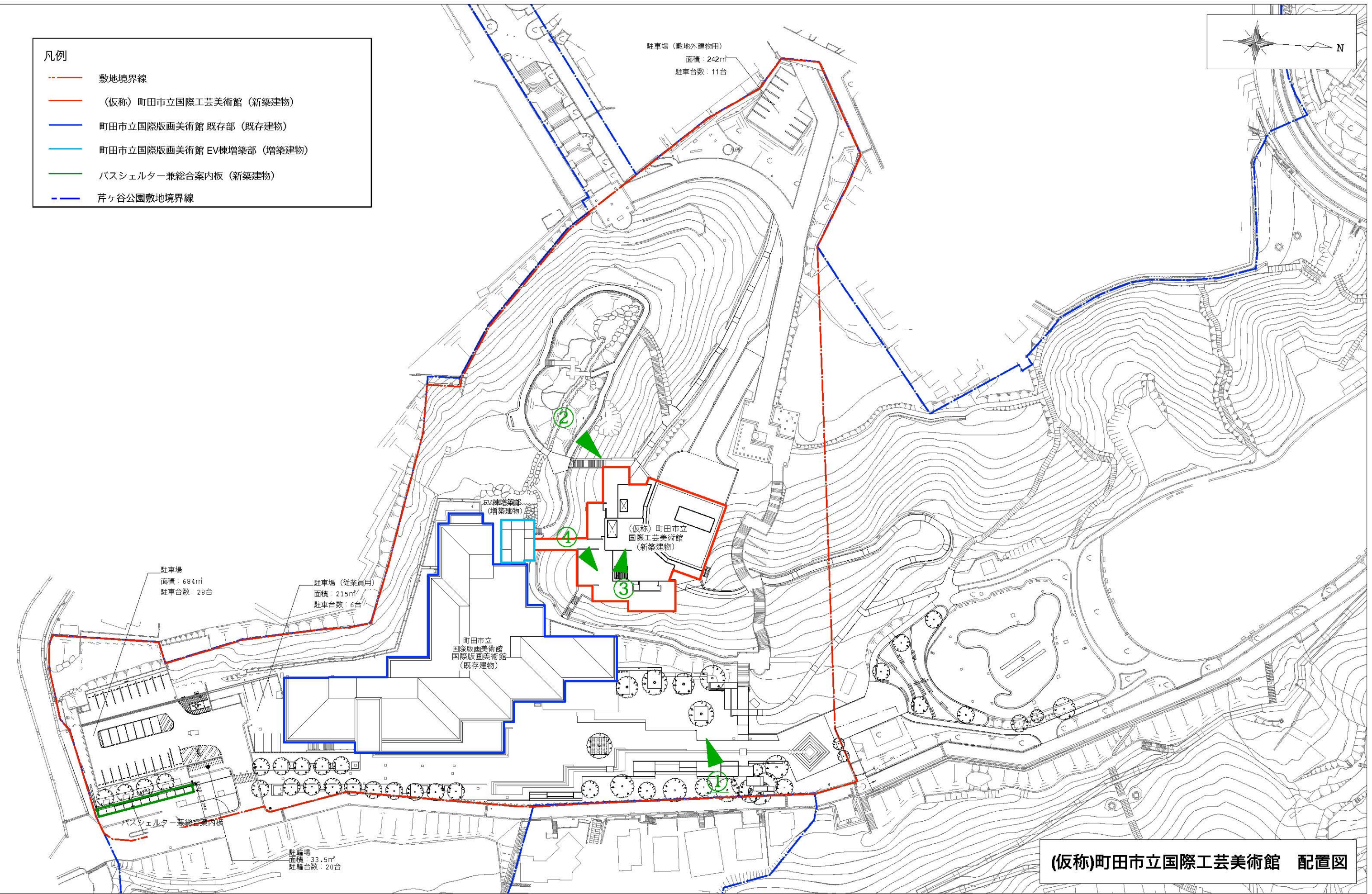
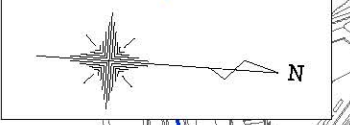
### ・工事費削減の検討(概算)

	コスト削減項目	概算工事費	削減見込額
①	建設発生土を場外へ搬出・処分する場合	約5千7百万円	▲約3千7百万円
	建設発生土を(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟で再利用する場合	約2千万円	
②	陶板タイル (12月議会時)	約1億4千6百万円	▲約2千8百万円
	陶板タイルの材質を見直す場合	約1億1千8百万円	
削減見込額合計			▲約6千5百万円

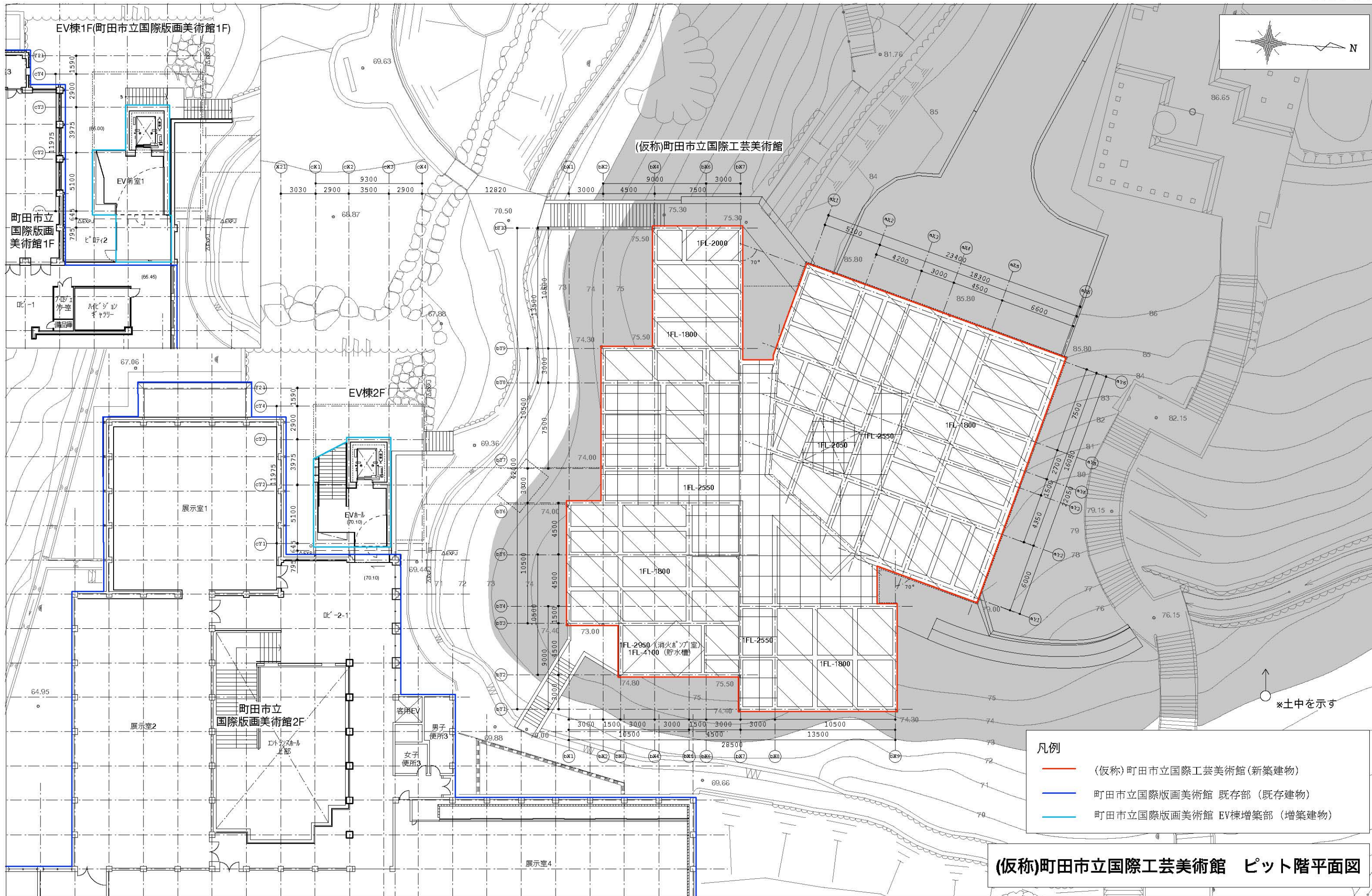
### ・その他の事業費の削減効果

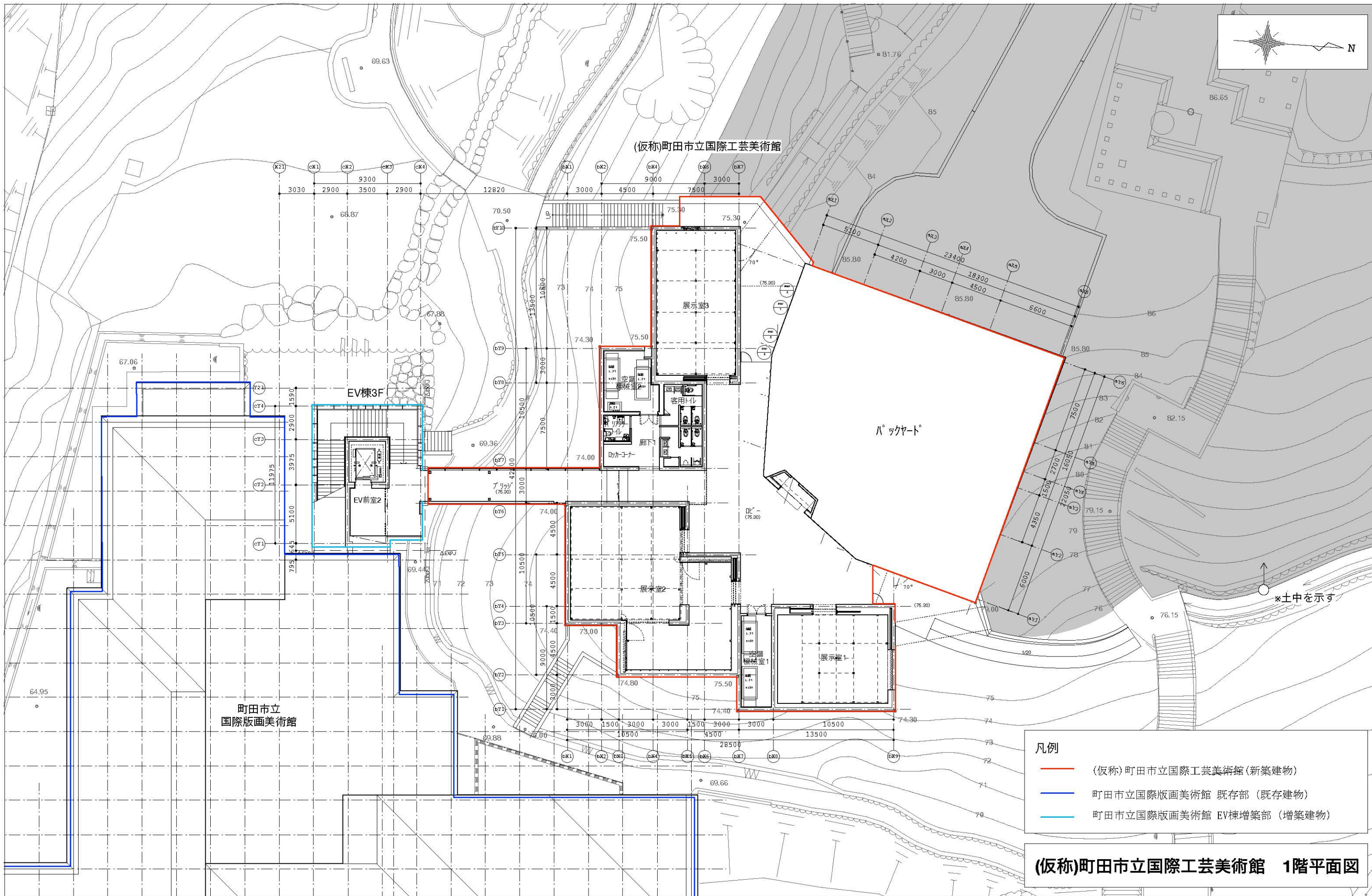
建設発生土を「(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟における擁壁整備工事」で再利用する場合、擁壁工事で必要な購入土の費用を約3千万円削減する効果が見込めます。

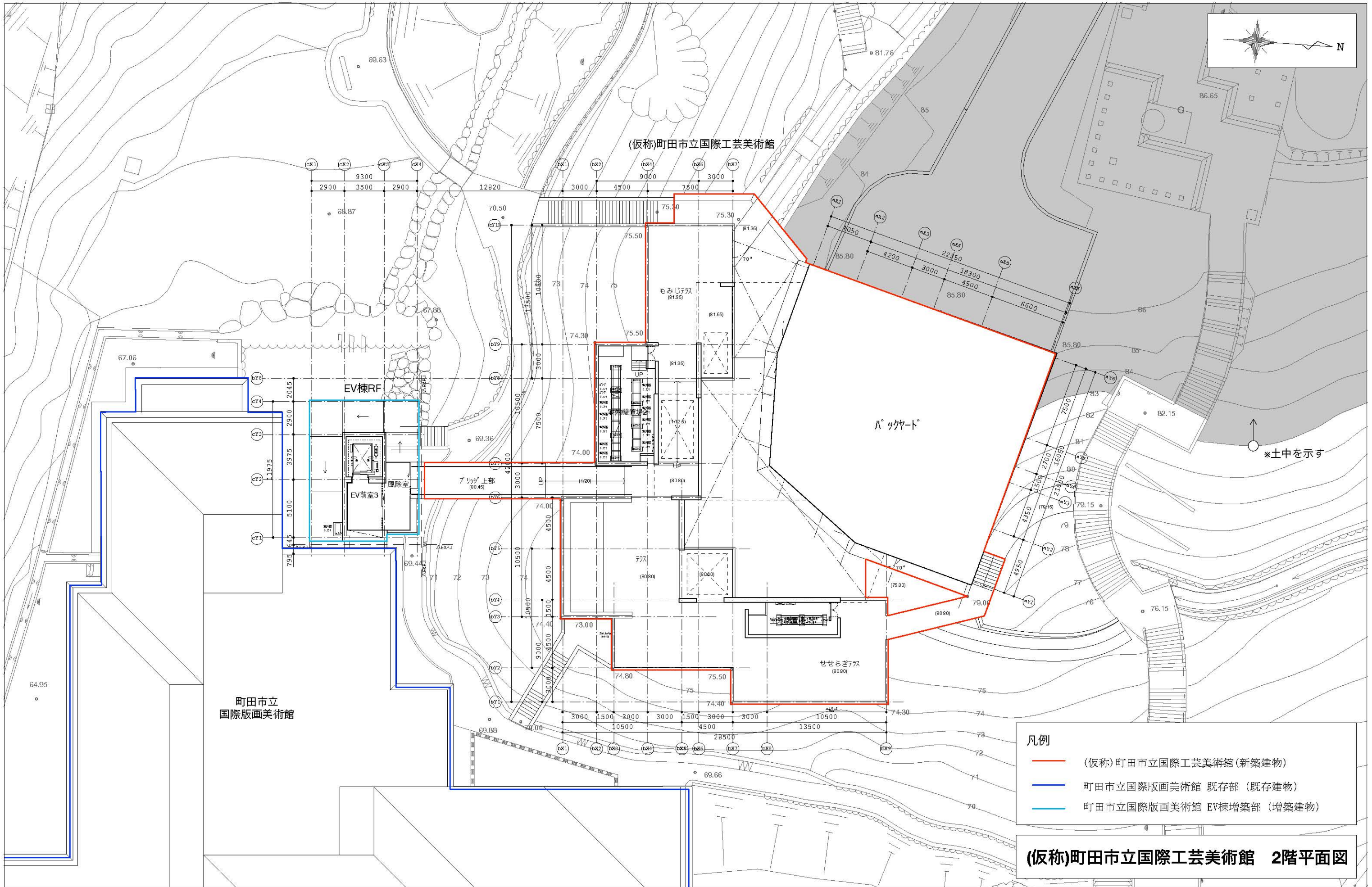
- 凡例
- 敷地境界線
  - (仮称) 町田市立国際工芸美術館 (新築建物)
  - 町田市立国際版画美術館 既存部 (既存建物)
  - 町田市立国際版画美術館 EV棟増築部 (増築建物)
  - バスシェルター兼総合案内板 (新築建物)
  - 芹ヶ谷公園敷地境界線

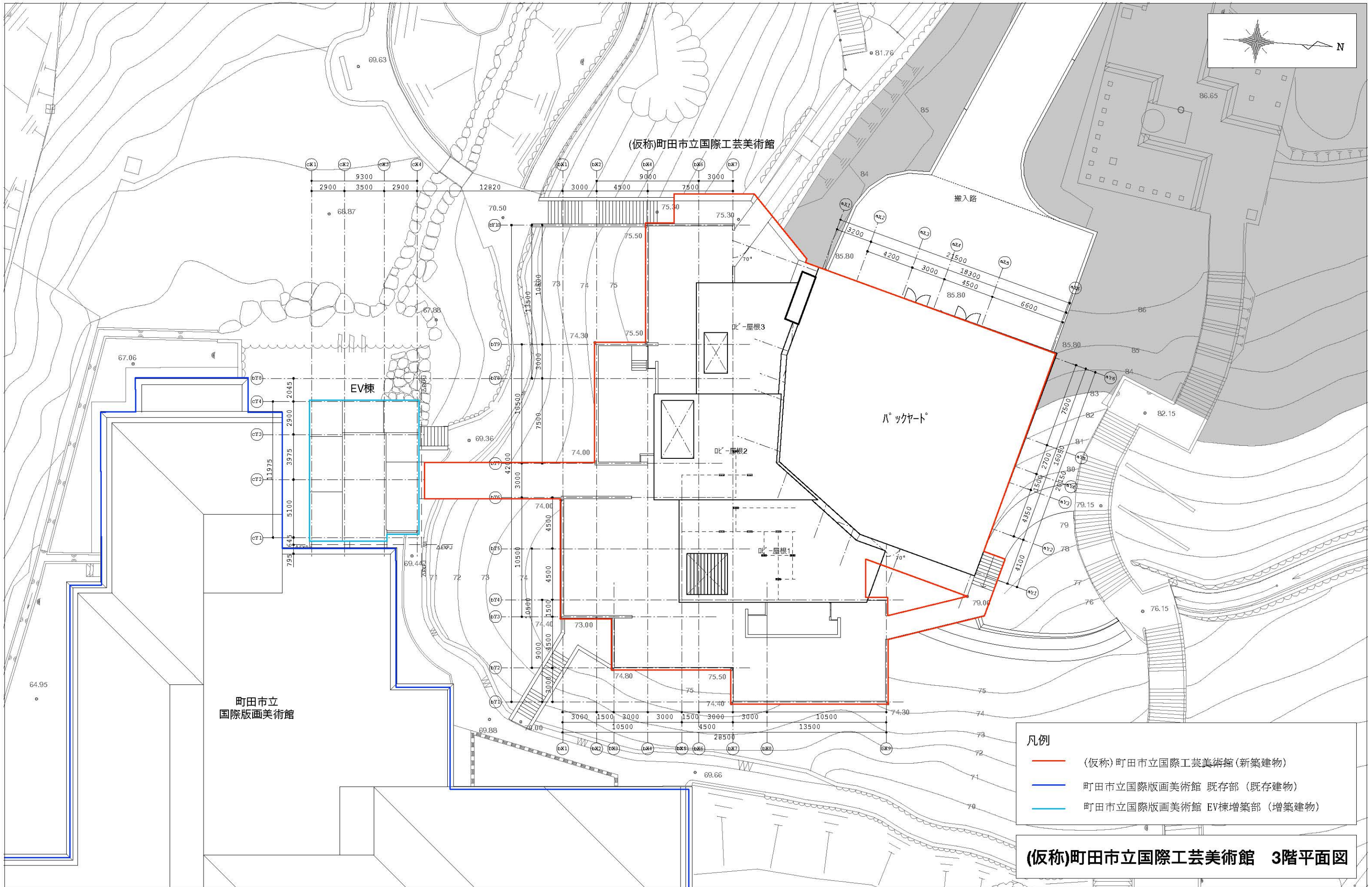
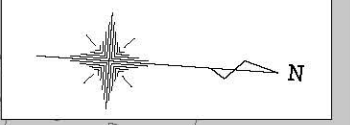


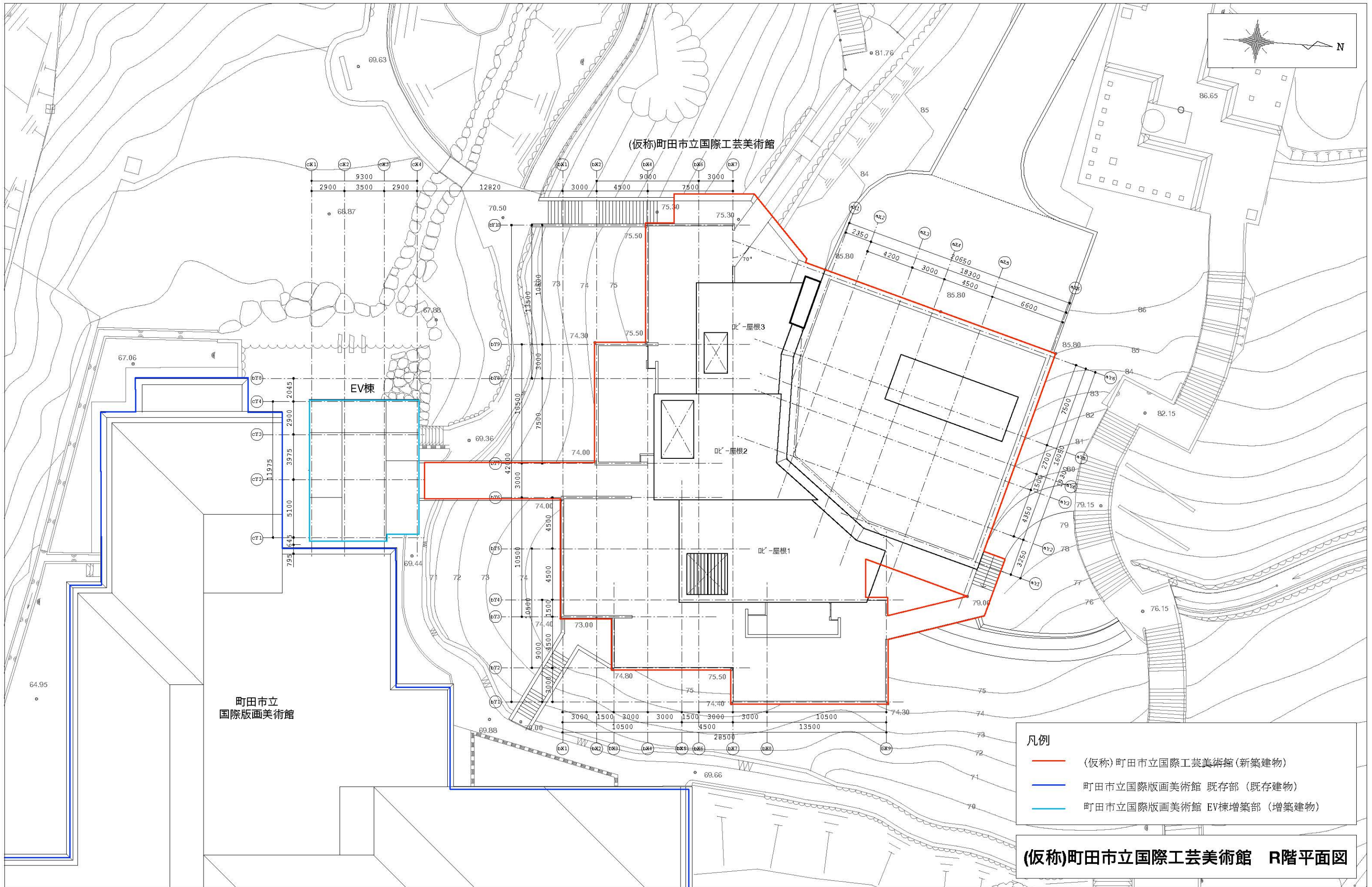
(仮称)町田市立国際工芸美術館 配置図



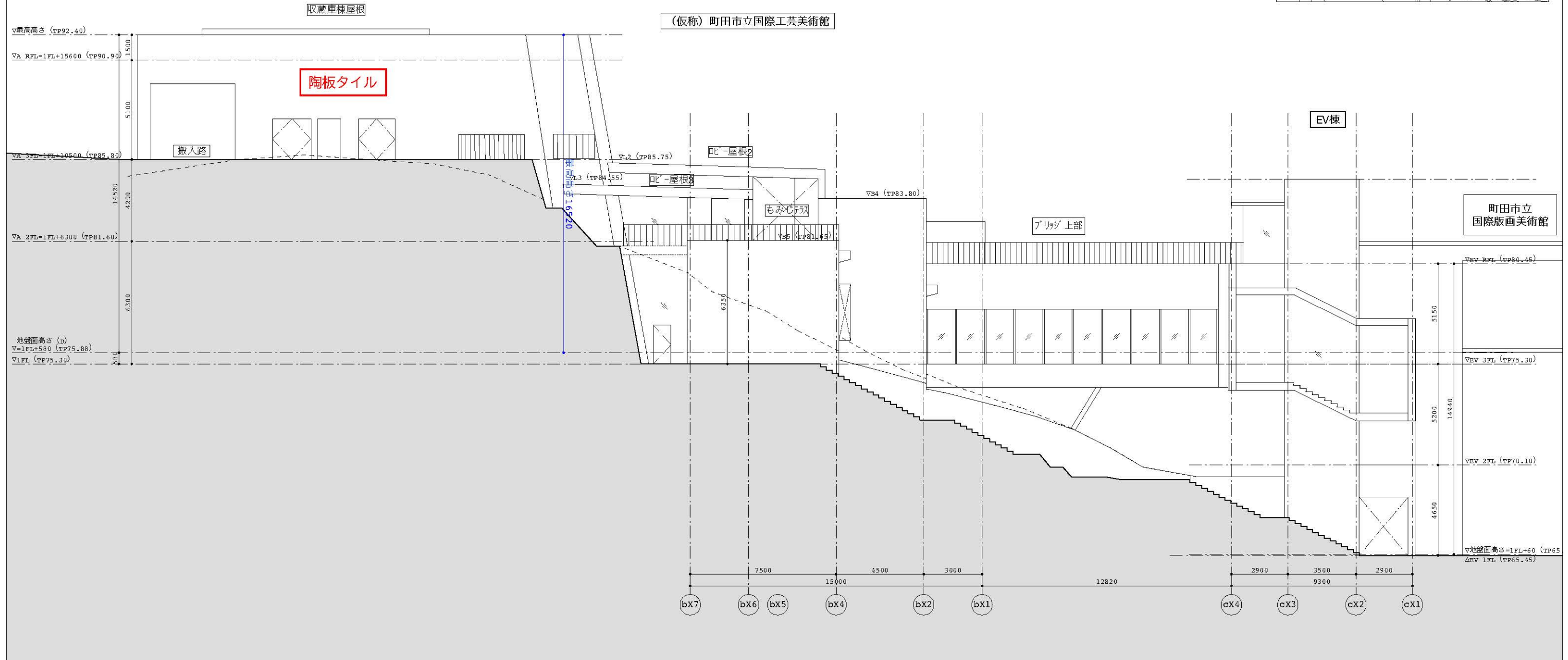
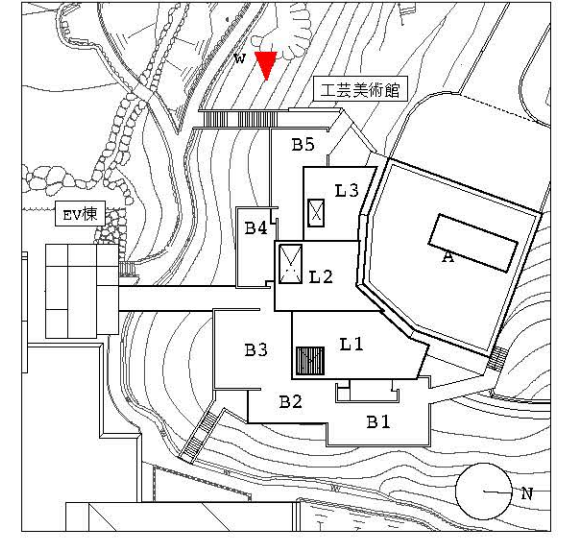








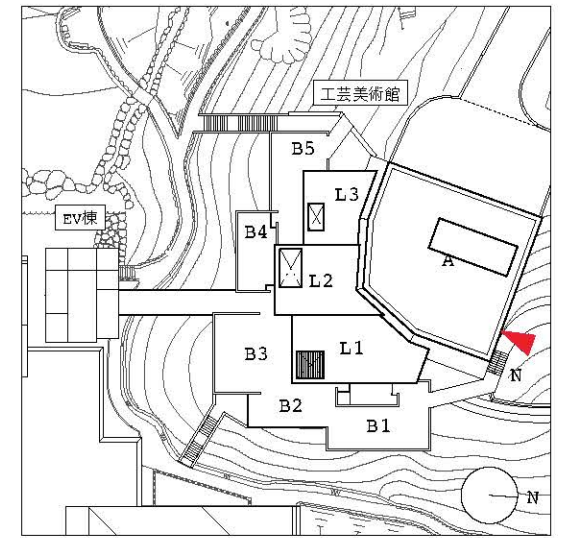




西側立面図

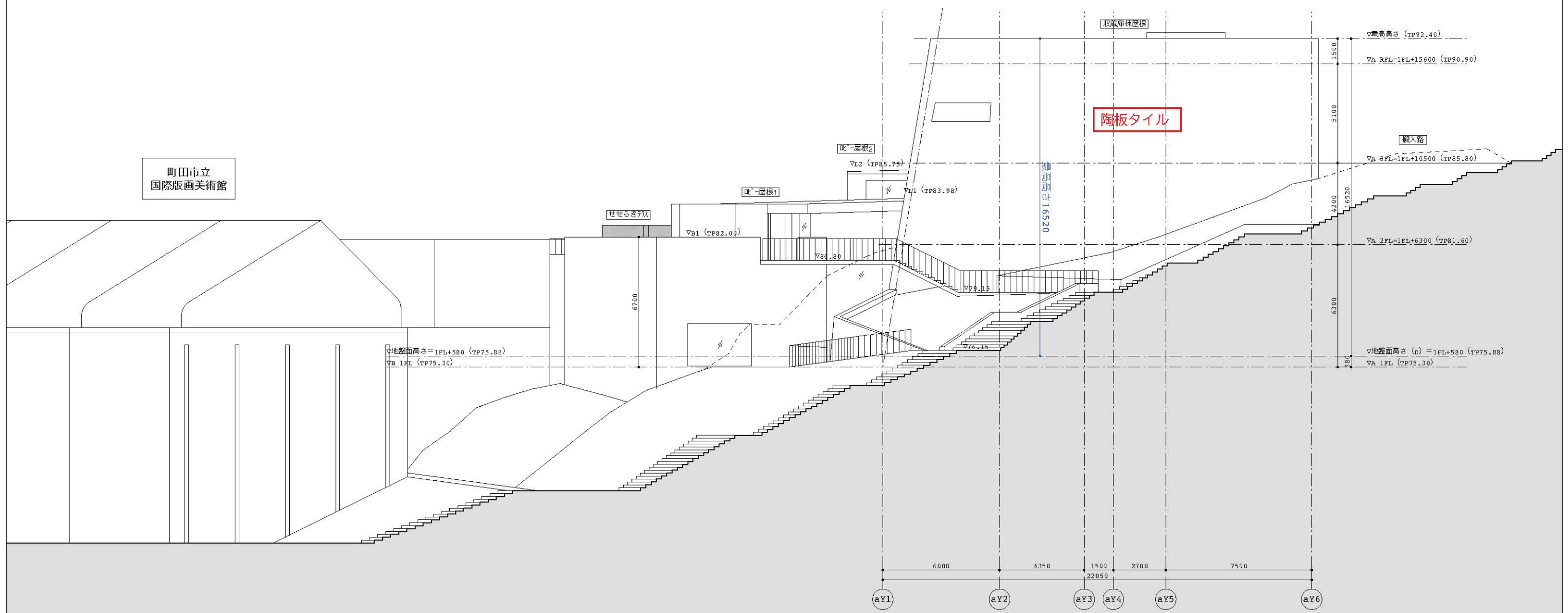
(仮称)町田市立国際工芸美術館 立面図-1

凡例  
 ——— 最高高さ



(仮称) 町田市立国際工芸美術館

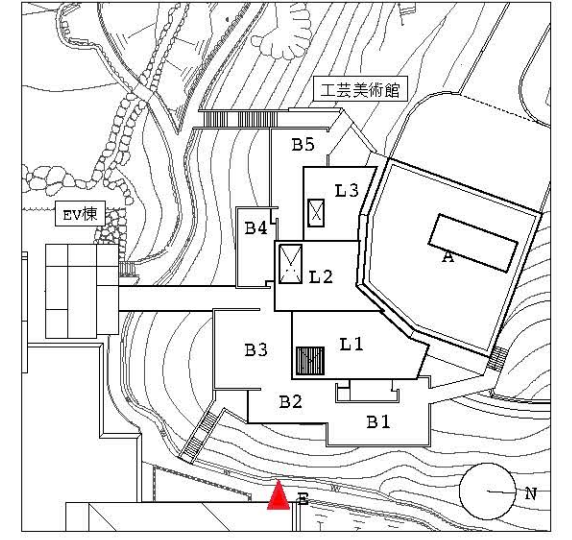
町田市立  
国際版画美術館



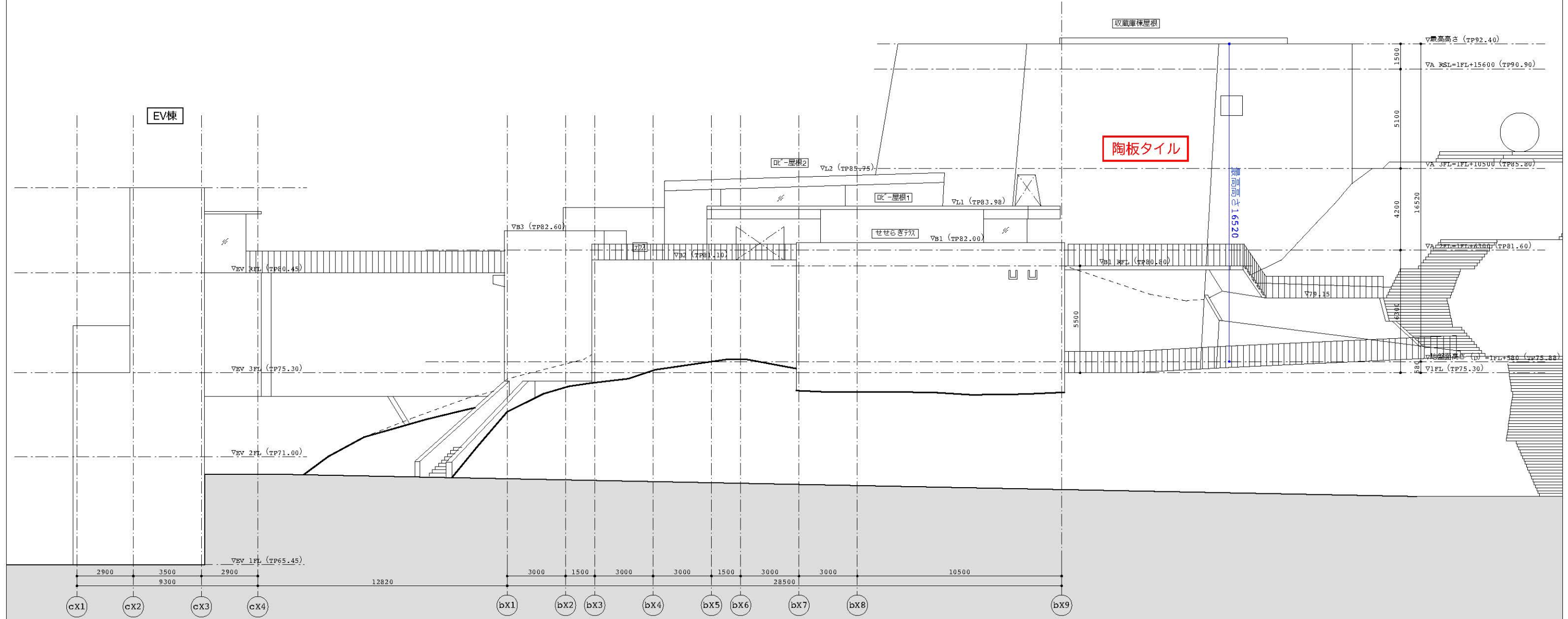
北側立面図

(仮称)町田市立国際工芸美術館 立面図-2

凡例  
 最高高さ



(仮称) 町田市立国際工芸美術館

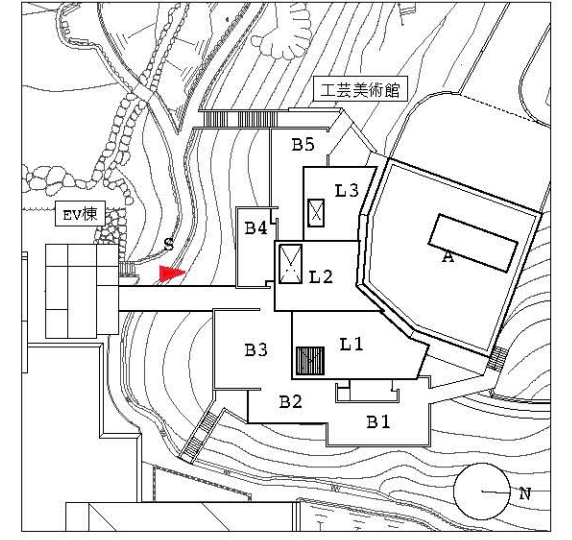


東側立面図

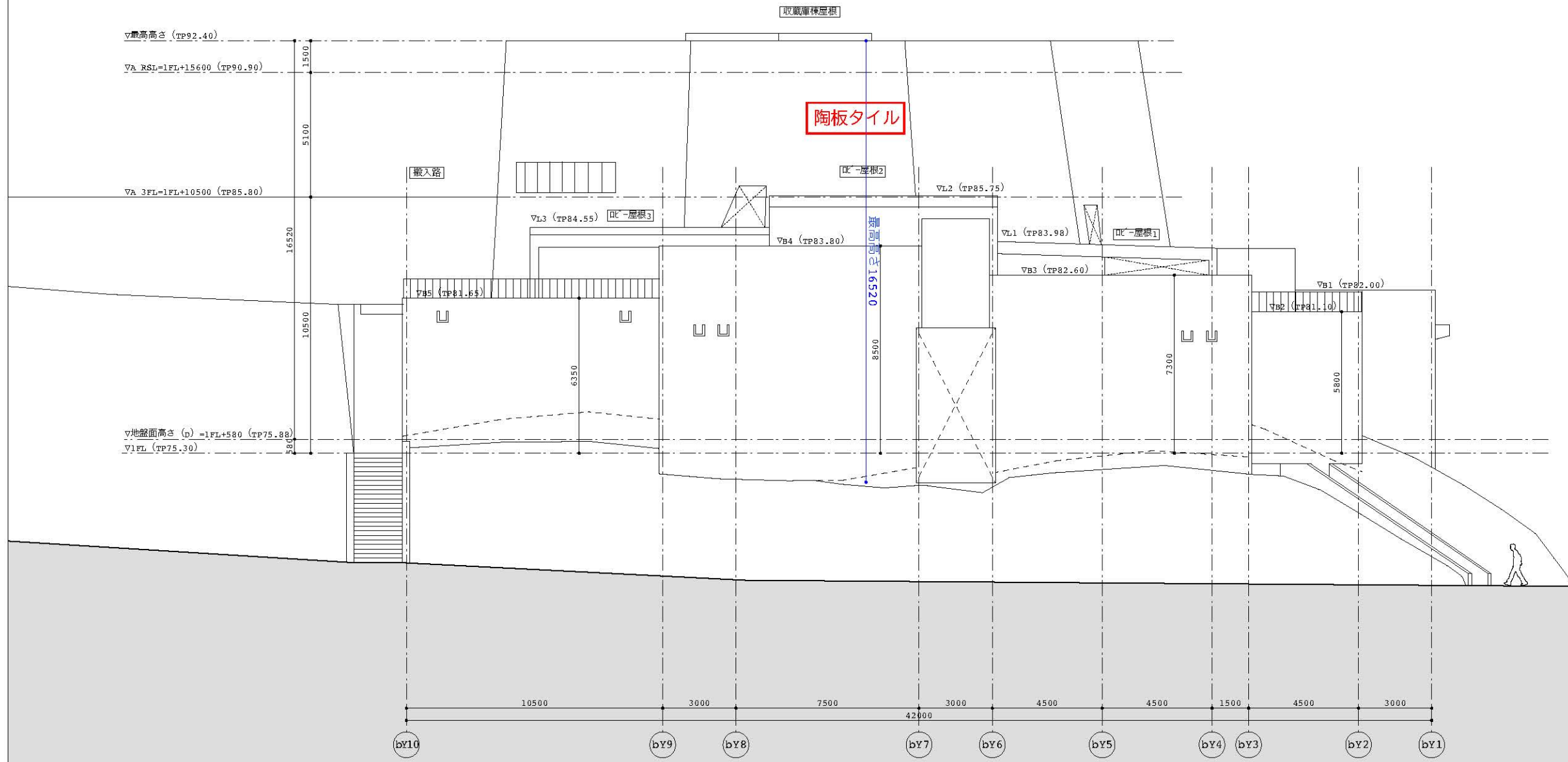
(仮称)町田市立国際工芸美術館 立面図-3

凡例

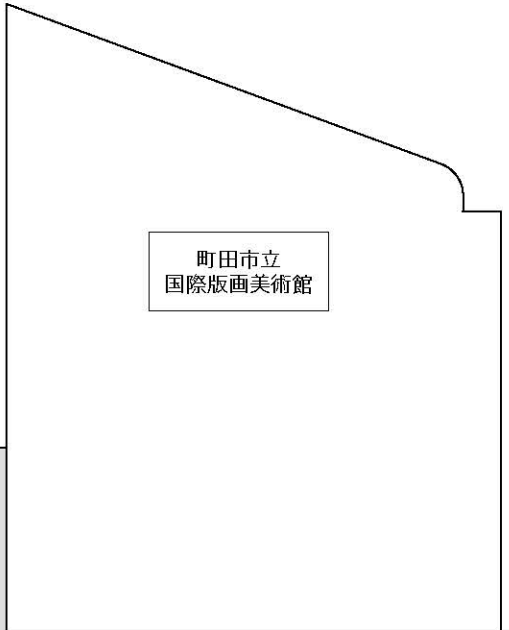
— 最高高さ



(仮称) 町田市立国際工芸美術館



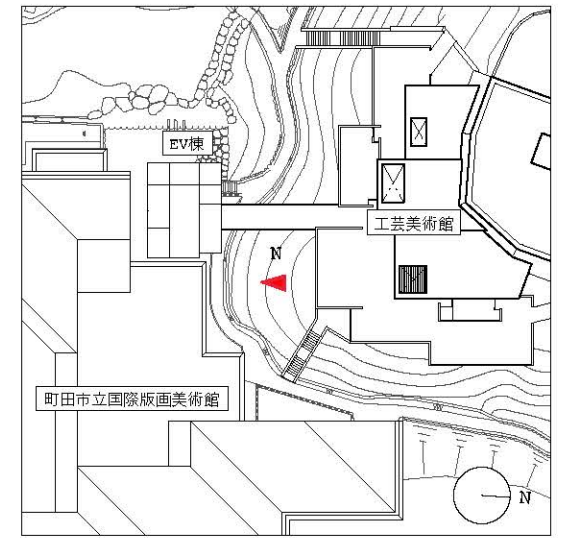
南側立面図



(仮称)町田市立国際工芸美術館 立面図-4

凡例

—— 最高高さ



版画美術館・EV棟立面図

(仮称)町田市立国際工芸美術館 立面図-5